

# こおろぎ

発行日 2010年4月1日 **No.207**  
発行元 株式会社  
オリジン・コーポレーション  
発行者 杉井保之  
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1  
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187  
E-mail [origin@ck.tnc.ne.jp](mailto:origin@ck.tnc.ne.jp)  
URL <http://www.origin-co.com>

## ブログランキング1位

私が主催している静岡経営塾のブログが、3月13日(土曜日)にブログランキングで1位になりました!

スゴイと思いませんか? 去年までパソコンに触ったこともなかった農家の人などが、汗をかきながら人差し指1本で書いたブログが、全国で1位になったのです!

このことは、どんなに小さな会社であっても、コツコツとした努力を積み重ねれば、全国で一番になれる可能性があるということを示していて、多くの方に勇気を与える出来事だと思います。

ブログランキングに応援して下さった皆さん、本当にありがとうございました。

日本で一番高い山が富士山であることは、誰もが知っていることですが、日本で二番目に高い山を知っている人は少ないものです。それほど一番と二番とでは差があります。

ですから、私たちのような小さな会社は、何かで一番になることにこだわるべきです。ところが、小さな会社の経営者の中には、「自分のところのような小さな会社が、全国で一番になるなんて無理だ」と思っている人も多いようです。経営者が「無理だ」と思っているのですから、社員さんたちが本気で狙うわけがありません。

私も「本気で挑戦したら、必ず日本一になれる」とは言いません。しかし、買わない宝くじが当たらないように、本気で狙ってみなければ日本一になる可能性はないと思います。狙ってみて日本一になれなかったとしても、仕事の質が向上し、仕事にやりがいが増えたら、それだけでも素晴らしいことではないでしょうか?

皆さんも、何かで日本一を狙ってみてはいかがですか?

順位がわかるもののほうが努力の成果が見えて良いかもしれませんが、電話の対応日本一。字はヘタでも、丁寧に書くこと日本一。笑顔のあいさつ日本一でも良いと思います。

そうしたことに本気で取り組んでいくことで、人生にメリハリができ、人生が広がっていくと思うのです。

考えてみてください。今回の「ブログ1位」に、どれだけのお金がかかったと思いますか? 1円もかけずに、そのジャンルでは全国で一番見てもらえる広告ツールを持つことができたのです。

中には、今、苦しい状況にいる方がいるかもしれませんが、一つ風穴を開けたら、大きく展開が変わるかもしれませんよ!

本当の強さというものは、小さな努力の積み重ねによって作られることを覚えておいてください。

### 今月の活動情報 活動を早く知りたい方は、ホームページで

- 4/3(土) 静岡はがきまつり (グランシップ)
- 4/3~4 静岡経営塾 (オリジン)
- 4/6(火) 浜松建設的な生き方を学ぶ会 (京丸園)
- 4/8(木) 沼津建設的な生き方を学ぶ会 (原地区センター)
- 4/8(木) 沼津経営塾 (沼津市民文化センター)
- 4/10(土) 全国八ガキ祭りの集いinびわ湖 (滋賀はがきまつり)
- 4/14(水) 松阪建設的な生き方を学ぶ会 (お菓子茶屋1010番地)
- 4/17~18 CLセミナー (オリジン山中湖研修所)
- 4/17(土) 山中湖建設的な生き方を学ぶ会 (安心サービス)
- 4/18(日) 南アルプス建設的な生き方を学ぶ会
- 4/20(火) 埼玉建設的な生き方を学ぶ会 (ウィルさいたま)
- 4/21(水) 横浜建設的な生き方を学ぶ会 (横浜地域職業訓練センター)
- 4/21(水) 東京建設的な生き方を学ぶ会 (株式会社東西)
- 4/29(木) 島田建設的な生き方を学ぶ会 (オリジン)
- 4/29(木) 時間とお金について (オリジン)

## 豊かな人生の種

生きてると、人生にはいろいろなことがありますね。誰にでも、嬉しいこともあれば、嬉しくないことも起こるものです。

昨年、私の友人がリストラに遭って、会社を退職しました。

まだ、学校に行っている子どもがいて、お金のかかる時期です。これまでの経験を生かして設計関係の会社に再就職しようとしたのですが、業界が不況で求人がありません。結局、彼はまったく経験のないタクシーの運転手になりました。

私はその話を聞いて、彼へのエールをこめて「こおろぎ」199号にタクシー運転手の話を載せました。その彼が、久しぶりにCL(建設的な生き方)を学ぶ会に参加してくれました。

きっと話したいこともあったと思いますが、彼は「ちょっと落ち込んでいたので、仕事明けだったけど来てみた」とだけ話して席に着きました。

彼は、長年、部下を使って設計の仕事をしてきましたので、タクシー運転手のような客商売は初めてです。中には酔ったお客様もいるわけですから、腹が立つこともあるのでしょう。

こうした「まさか」という坂は、私たちにもいつ襲ってくるかわかりません。

それは、健康面で現れるかもしれませんし、金銭面や対人関係で現れるかもしれません。

そんなとき、多くの人は「悪いことが起こった」と思うようですが、私は「悪いことが起こった」とは考えていません。私は、「役に立つことが起こった」と捉えるようにしています。

多くの方は、出来事を「いいこと」と「悪いこと」の二つに分けがちですが、そう捉えてしまうと、その出来事は「悪いこと」として認識されて、動かせないものになってしまいます。ですから、私は、「役に立つことが起こった」と捉えることにしています。

実際のところ、私が会社を継ぐことになったとき、借金はたくさんあるし、銀行はお金を貸してくれない。求人を出しても人が入ってくれない状況でした。

しかし、今となると、その状況こそが、豊かな人生の種だったのです。

私はそうした自分の経験から、起こったことを嫌うのではなく、それを生かしたときに、人生が変わると思っているのです。

私は、彼に私の体験を話してから、機嫌の悪いお客様が、彼の対応によって機嫌が良くなったことがないか尋ねました。

すると、乗車中に機嫌が良くなった人が数人いるとのことでしたので、そのやりとりをメモに控えるようにアドバイスしました。

世の中には、タクシーの運転手さんだけでなく、人のために不愉快な思いをしている人はたくさんいます。ですから、そうした人たちへの上手な対応をまとめたら、ベストセラー間違いなしです。インターネットで配信したら、億万長者になれるかもしれません。

私たちにとって嫌なことは、他の人にとっても嫌なことなのです。ですから、それを取り除く方法には、お金を生み、人生を豊かにする力があるのです。

私は宗教のことはわかりませんが、もし神様がいたら自分が創った人間に悪いことを起こすわけがありません。神様は、私たちに「いいこと」と「役に立つこと」だけしか与えないと思うのです。

どんなに嬉しくないことも、起こってしまったことは受け入れるしかありません。せっかく嫌な思いをしたのなら、その元は取らないともったいないですよ!

この話を聞いた彼は、これから不機嫌そうなお客様が乗ったら、「ラッキー!」と思うようになるかもしれません。